

指定管理者評価シート

事業名	老人福祉センター運営管理費	所管課(電話番号)	保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課(211-2976)
-----	---------------	-----------	-----------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市厚別老人福祉センター	所在地	厚別区厚別中央1条7丁目
開設時期	平成4年4月	延床面積	1,561㎡
目的	老人に対する福祉の増進		
事業概要	老人に対する生活相談、健康相談、機能回復訓練及びレクリエーションの実施、職能訓練及び就職の指導、老人デイサービス事業、浴室その他の施設を老人の使用に供すること		
主要施設	大広間、職能訓練室、機能回復訓練室、浴室、娯楽室		
2 指定管理者			
名称	(社福)札幌市社会福祉協議会		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	非公募		
	非公募の場合、その理由：当センターで実施している老人デイサービス事業において、利用者に対し適切なサービスを提供していくためには、利用者と施設職員との間には継続的な人的信頼関係が必要不可欠であり、指定管理期間の満了により指定管理者が変更されると、施設の管理運営に重大な支障をきたし、利用者にも不利益を与えるおそれがある。管理が良好に行われている法人であるため、非公募とした。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	施設管理業務、各種相談業務、健康増進業務、教養講座業務、レクリエーション業務、老人デイサービス業務		
3 評価単位	施設数：1施設		
	複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 平成29年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>▼設置目的を実現すべく、当法人が掲げる5つの原則(人間性、平等性、サービス性、地域性、効率性)に基づき、①人にやさしく、心のかよい合うサービスの提供②だれもが安心して利用できる施設づくり③サービスの質の向上と改善④地域から愛され信頼される施設づくり⑤効率的な経営の5つの基本方針を策定している。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼当法人の5つの基本原則の「平等性」に基づき、「公の施設である老人福祉センターの利用にあたっては、不当な差別的取扱いをしてはならない」という方針を策定し、研修やミーティング、掲示等により関係法令の遵守の徹底を職員に図り利用者の視点に立ったサービスの提供を行った。</p>	<p>当法人の基本理念及び札幌市の高齢者施策、方針に基づき適正な管理運営を行うことができた。</p> <p>基本原則に基づいた基本方針や取組項目を策定し、適正に取組むことができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>仕様書に沿って適切な管理がなされている。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

- ▼当法人の環境保全行動計画に関する要綱に基づき、エコ活動の推進に取組み、二酸化炭素排出量の削減のため、光熱水費等を節約し、環境への配慮に努めた。
- ▼廃食油回収ボックスを設置した。
- ▼デイサービス送迎の運転時はアイドリングストップや穏やかな発進等を実践し、エコドライブを推進した。
- ▼物品等はグリーン製品購入の推進に努めた。
- ▼環境へ配慮した取組みに関して職員研修を行った。

各種取組により、環境への配慮に取り組んだ。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼仕様書どおり責任者・従事者を配置した。
- ▼指揮命令系統、業務分担等を事務分掌にて定めた。
- ▼研修計画に基づき、更なるサービス向上のための職員研修を実施するとともに、その内容を全職員に周知するなど人材育成に努めた。

左記の取組により、管理運営組織を確立している。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

- ▼当法人で管理している施設の担当者から施設長までの各職階ごとの会議を行い、適時、日々の業務の課題や問題点、その対応方法について適確な情報交換を行なうとともに、ネットワークシステムにより各施設間において必要な情報を共有した。
- ▼業務の見直し改善を各種会議で図るとともに、当法人が管理する市有施設の施設長が一堂に介し、各施設が抱える諸問題等について検討を行う「定例施設長会議」等で情報の共有を図った。

必要な情報の共有を図り、管理水準の維持向上に向け取り組んでいる。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

- ▼適正な施設の維持管理を行なうため、専門的な知識が必要な業務を委託し、履行時の確認及び報告書等の提出を求め、必要に応じて改善・指導を行った。

業務の履行確認を適宜行い、適正な管理を行った。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 平成30年 3月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・休館中の冷暖房衛生設備改修工事に関する報告について ・平成28年度管理業務報告及び平成29年度管理業務中間報告等について ・平成29年度利用者アンケート及び苦情報告等について ・平成30年度に向けた取組について(市民サービスや管理水準の維持向上)
<協議会メンバー> 新さっぽろ町内会会長、福祉のまち推進センター長、地域包括支援センター長、教養講座講師、サークル代表者、センター利用者、札幌市高齢福祉課職員、館長、副館長	

仕様書に基づき、協議会を開催し、活発な意見交換を行った。

	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>▼資金管理については、「資金管理運用規程」により、資金の区分、運用の基本方針、運用対象等について定めており、資金の適正かつ効率的な管理運用を行った。定期的に監事監査や公認会計士による外部会計監査を導入している。</p> <p>▼現金等の取扱いについては、「経理規程」に基づき、「経理事務の手引き」を定め、不適切な経理事務の未然防止として、外部監査、内部監査、月末残高照合を実施するとともに、日常的に現金実査を行っている。</p> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>▼当法人苦情解決処理規程及び苦情解決処理要領に基づき、適切に対応することとしている。また、必要に応じて苦情を解決していく過程のなかに客観的な視点を入れることを目的とした外部の有識者3名による「第三者委員」も設置している。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼利用者ニーズに積極的に対応するため、2月にアンケート調査を行い、結果を掲示した。また、意見・要望等については、可能な限り改善を行った。報告については遅滞なく、各種実施項目の評価を行った。</p>	<p>適切な管理を行っている。</p> <p>要望・苦情等については迅速かつ適切に対応している。</p> <p>意見・要望等は整理して今後のサービス向上につなげるため、職員会議に諮り改善を行った。</p>									
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>▼就業規則等については、各種関係法令を遵守するとともに、各職員に過度の負担がかからないよう勤務割等に配慮した。</p>	<p>関係法令の遵守はもちろん、勤務割も希望により配慮する等、就業しやすい環境づくりを行った。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">法令を遵守し、職員の良い雇用環境が維持できるよう努めている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	法令を遵守し、職員の良い雇用環境が維持できるよう努めている。			
A	B	C	D								
法令を遵守し、職員の良い雇用環境が維持できるよう努めている。											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼定期的に避難誘導・通報等の訓練を実施した。</p> <p>▼AED講習会を実施した。</p> <p>▼当法人で平成27年4月に新たに策定した感染症予防マニュアルに基づき、利用者への感染対策を図った。</p> <p>▼冬道の安全確保のため、「ひとつぶの思いやり運動(利用者による砂まき)」を行った。</p> <p>▼緊急時等におけるセンター連絡体制を作成し、最短の時間で連絡可能な体制を確保した。</p> <p>▼指定管理業務仕様書に適合した施設賠償責任保険に加入した。</p>	<p>利用者の安全を第一に必要な配慮を行い、安全確保に取り組んだ。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">利用者の安全確保及び施設管理について、良好に行っている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	利用者の安全確保及び施設管理について、良好に行っている。			
A	B	C	D								
利用者の安全確保及び施設管理について、良好に行っている。											

	<p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼清掃、警備、施設保全、電気工作物、施設管理、除雪業務は委託を行い、適正に管理を行った。 ▼設備、機器類は委託による予防保全を行い、利用に支障のないよう速やかに修繕を行った。 ▼備品台帳を備え、適正かつ効率的な備品管理を行った。 ▼駐車場管理については、適時見廻りを行い無断駐車防止と近隣の安全確保に努めるとともに、必要に応じて館内放送等で案内・誘導を行った。 ▼外構緑地に関しては、1日2回見廻り点検を実施し、美観の保持、利用者の安全、防犯及び近隣への配慮を維持した。</p> <p>▽ 防災</p> <p>▼仕様書に基づいた防災業務計画を策定し、年2回(6月、1月)自衛消防訓練を実施した。 参加利用者数 6月:78人/1月:94人</p>	<p>仕様書に基づき、適切な管理を行った。</p> <p>仕様書に基づき、適切な防火管理を行った。</p>													
<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 生活相談に関する業務</p> <p>▼有資格者が利用者の生活、住宅、福祉等の様々な個別相談を受ける体制をとっている。616件(計画300件) ▼看護師を中心として利用者の疾病予防、食事等に関する相談を実施するとともに、自己管理に役立つよう施設内に自動血圧計を設置している。利用件数 2,552件 ▼利用者満足度:73.81%(計画80%)</p> <p>▽ 健康増進、機能訓練に関する業務</p> <p>▼転倒予防教室を年54回実施した。延参加人数 1,114人 ▼輪踊りダンスを月2回実施した。延参加人数 358人 ▼ウォームシェア事業として健美操、座ってヨガを実施した。参加人数 142人 ▼あへあほ体操を年8回実施した。延参加人数 342人 ▼高齢者の体力の維持、向上、増進等訓練のため、各種訓練機器を設置している。利用人数 2,845人 ▼利用者満足度:83.06%(計画85%)</p> <p>▽ 教養講座に関する業務</p> <p>▼自由参加講座を7講座(健美操、詩吟、日本舞踊、社交ダンス、カラオケ、民謡、フラダンス)実施。 自由参加講座 延参加人数 6,273人 ▼定員制講座を9講座(皮革工芸、健康ヨガ、絵手紙、木彫り、ペン習字、骨盤体操、姿勢、茶道、書道)実施。 定員制講座延参加人数 2,301人 ▼申込定員参加率:100%(計画90%) ▼利用者満足度:90.7%(計画85%)</p>	<p>利用者の方が健康で安心した生活を継続して営むことができるよう、各種相談事業を積極的に推進した。</p> <p>高齢者の健康維持・増進を図るとともに、介護予防を踏まえた、地域連携による健康増進事業を積極的に推進した。</p> <p>満足度の目標値を達成しており、同業務による高齢者福祉の増進を図ることができている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">仕様書に沿って、適切な業務を行っている。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">工事に伴い浴室の利用ができない期間があったが、デイサービスの利用者へ可能な限り変更のないサービスを提供した。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	仕様書に沿って、適切な業務を行っている。				工事に伴い浴室の利用ができない期間があったが、デイサービスの利用者へ可能な限り変更のないサービスを提供した。			
A	B	C	D												
仕様書に沿って、適切な業務を行っている。															
工事に伴い浴室の利用ができない期間があったが、デイサービスの利用者へ可能な限り変更のないサービスを提供した。															

【定員制講座申込率】

講座名	定員数	申込数※	申込率
皮革工芸	12	12	100.0%
健康ヨガ	30	30	100.0%
絵手紙	20	20	100.0%
木彫	12	12	100.0%
ペン習字	20	20	100.0%
骨盤体操	18	18	100.0%
姿勢	20	20	100.0%
茶道	12	12	100.0%
書道	20	20	100.0%

※申込数は参加決定者数

▽ レクリエーション、各種行事の開催等に関する業務

- ▼レクリエーション参加人数 22,388人
- ▼読書、卓球、囲碁、将棋、オセロなど開館日に娯楽室等を開放し、利用者相互の交流の場を提供した。
- ▼各種行事参加人数 1,421人
- ▼春季行事として、演芸発表会・民謡発表会・囲碁大会・卓球大会・かるた大会を実施した。参加人数 351人
- ▼年末行事として、Xmasダンスパーティーを実施した。参加人数 33人
- ▼新春行事として、マジックショー・初釜・かるた大会を実施した。参加人数 172人
- ▼センター利用者を中心に出演、演奏した「ピースコンサート」を実施した。参加人数 72人
- ▼地域福祉への理解を深めるため、「地域見守りサポーター養成講座」及び「ボランティア講座」を実施した。参加人数 18人
- ▼講座及びサークルの作品発表の場として、卒業作品展を実施した。見学者数 376人
- ▼健康に関する行事として、ヤクルトによる出前講座を実施した。参加人数 75人
- ▼行事申込定員参加率:100%(計画90%)
- ▼レクリエーション・行事利用者満足度:91.4%(計画85%)

大規模修繕工事による4カ月間の休館があったが、実施した各種行事については前年より多くの方が参加され、満足度の目標値も達成した。利用者が交流の場として楽しんでいると思われる。

【定員制行事・レクリエーション】

定員制行事・レク名	定員数	申込数	申込率
春季囲碁大会	28	32	114.3%

<p>▽ 老人デイサービス事業に関する業務</p> <p>▼利用人数 4,129人 ▼要介護状態及び要支援状態にある高齢者に対し、生活習慣、家庭環境、身体状況等に応じて以下のサービスを提供した。 送迎、健康チェック、食事、入浴、排泄、心身機能の回復・維持、個別機能訓練、介護予防サービス、相談・助言、家族介護教室、その他の行事・レクリエーション等 ▼利用者総合満足度:90.16%(計画85%) ▼地元中学校に職場体験学習の場として活用してもらった。</p>	<p>さらに満足度の高いサービス提供に努めたい。 大規模修繕工事により通常浴室等の使用ができなく仮設風呂での対応であったため、工事期間中は他の事業所に移る等の理由により利用者の減少となったが、仕様書に基づくサービスの提供を行い、満足度が目標値を上回る事ができた。</p>
<p>▽ 高齢者の活動支援及び地域開放に関する業務</p> <p>▼講座修了生の自主的サークル活動の支援や地元町内会などの地域住民、老人クラブ等に空室を提供して、施設の有効活用を図った。利用人数 12,668人 ▼地域活動応援講座として、地元小学校数校から小学生が参加した「子ども囲碁教室」を第一土曜日を除く毎週土曜日(13～15時)に空き室を利用して実施した。参加人数 85人 ▼地元住民の高齢者の交流の場として、「ふれあいきいきサロン」へ空き室を開放した。参加人数 265人</p>	<p>地域活動の拠点となるよう積極的に施設の開放を行なっている。</p>
<p>▽ その他設置目的に関する業務</p> <p>▼社会貢献として、福祉を志す学生や看護実習生等を積極的に受け入れた。延受入人数 30人 ▼近隣中学校の「就業体験」を積極的に受け入れた。延受入人数 14人 ▼地元小学校との交流行事(短編劇の発表やメッセージカードのプレゼントなど)を実施した。参加人数 45人 ▼当センターから健康・介護等の情報を発信する目的で、老人クラブ会員や地域住民も参加可能な「健康セミナー」を開催した。年4回、延参加人数 98人 ▼運動能力向上事業の充実を図ることを目的として「いきいき介護予防体操教室」を開催した。参加人数 270人 ▼文化創作活動の発表と文芸を通しての交流を目的として、老人福祉センター利用者から作品を募集し、合同文集「輝き」を発行した。 ▼施設のロビーに福祉情報コーナーを設置し、通年で福祉関係の情報を掲示している。また、ボランティア講座時等に厚別区社会福祉協議会職員と共に各種相談会を実施した。</p>	<p>社会貢献や介護予防事業等の各種取組を行ない、情報の発信により福祉の増進を図っている。施設のロビーに「福祉情報コーナー」を設置したことや厚別区社会福祉協議会をはじめ、地域包括支援センター等の地域にある団体との連携を行うことで、相談内容に応じた関係機関を紹介し、地域福祉の充実に貢献できるよう努めた。</p>

<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1" data-bbox="383 197 981 331"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H28実績</th> <th>H29計画※</th> <th>H29実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>人数(人)</td> <td>55,888</td> <td>61,000</td> <td>36,014</td> </tr> <tr> <td>浴室</td> <td>人数(人)</td> <td>5,262</td> <td>4,480</td> <td>3,745</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ H29計画は通年開館の目標値</p> <p>▽ 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼全施設アンケートを実施し、利用者ニーズを把握している。 ▼利用者を委員に加えた運営協議会を開催し、適切な施設運営の参考とした。 ▼地域協働行事や地域児童を対象とした囲碁教室の実施など施設PRを図った。 ▼利用者の意見要望などタイムリーなニーズを把握するため、ご意見箱を設置している。 ▼毎月、福祉のまち推進センターや地元町内会に館内新聞を届けPRを図った。 			H28実績	H29計画※	H29実績	全体	人数(人)	55,888	61,000	36,014	浴室	人数(人)	5,262	4,480	3,745	<p>入浴は有料化から利用人数の減少傾向が続いている。健康に関する講座や体操教室など健康増進事業の利用が顕著に向上しているが、大規模修繕工事により4カ月間休館となったため前年度より大幅に減少した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>仕様書に沿って、適切な業務を行っている。工事のため4か月間の休館があった。</p>	A	B	C	D				
		H28実績	H29計画※	H29実績																						
全体	人数(人)	55,888	61,000	36,014																						
浴室	人数(人)	5,262	4,480	3,745																						
A	B	C	D																							
<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ホームページによりタイムリーな情報を積極的に提供した。 ▼教養講座募集や行事開催時には広報さっぽろへの掲載を行った。 ▼他の老人福祉センターの広報誌も希望される利用者に配布できるようにし、利便性を高めるとともに広報活動の強化を図った。 ▼町内会用のセンターだよりを作成し、定期的(月1回)に配布しPRを行った。 ▼福祉のまち推進センターの独居老人の見守り事業に協力すべく、当施設の利用等に関するチラシを作成し、定期的(月1回)に配布しPRを行った。 <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>(前回から継続指定のため、引継業務なし)</p>	<p>各種媒体を利用し、積極的に施設PRの推進を図った。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>適切な広報活動を実施している。広報さっぽろへのイベント掲載が終了したことから、今後は、利用者等の意見を踏まえた広報活動について検討してほしい。</p>	A	B	C	D																			
A	B	C	D																							
<p>2 自主事業その他</p>																										
<p>▽ 自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼飲料の自動販売機を設置し、利用者の利便提供を図った。 手数料収入 173,743円 <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼清掃業務を障がい者団体に委託した。 ▼施設修繕及び物品購入は市内業者を中心に発注した。 ▼障がい者団体に週1回手作りパンの販売場所を提供している。 	<p>他の一部の老人福祉センターにある喫茶コーナーに替わるカップ式自販機を設置しており、利用者への利便提供を行っている。</p> <p>市内企業を活用する他、福祉施策への配慮を心掛け、実践できた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>札幌市の施策に沿った業務を実施している。</p>	A	B	C	D																				
A	B	C	D																							

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	期間中(2/5～2/19の15日間)に利用する利用者を対象にアンケート用紙を配布し記入していただく。 回収356枚(回収率93.7%)
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な満足度: 目標:75%、結果:85.11% ・職員の接遇に関する満足度: 目標:75%、結果:88.46% ・生活相談に関する満足度: 目標:80%、結果:73.81% ・健康増進・機能訓練に関する満足度: 目標:85%、結果:83.06% ・教養講座に関する満足度: 目標:85%、結果:90.7% ・レクリエーション・各種行事に関する満足度: 目標:85%、結果:91.4% ・通所介護等に関する満足度: 目標:85%、結果:90.16% ・受付カウンターに関する満足度: 目標:85%、結果:91.16%
利用者からの意見・要望とその対応	・新しい内容の開講希望講座(水彩画講座)については、平成29年度で終了となる講座があることから、次年度に向けて調整中である旨の説明をした。

今年度も356枚と多くの方に協力を得ることができた。また、満足度についても概ね目標値を達した。目標に届かなかった項目は無回答割合が7割以上であったことと普通との回答が多かった。満足度の高い回答が得られるように関心度とサービスの質を高めていく。

A	B	C	D
---	---	---	---

おおむね、目標値を達成することができている。相談業務については、実施方法等の工夫について検討してほしい。

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

項目	H29計画	H29決算	差(決算-計画)
収入	79,178	76,782	▲ 2,396
指定管理業務収入	79,044	76,538	▲ 2,506
指定管理費	41,669	41,669	0
利用料金	36,937	31,826	▲ 5,111
その他	438	3,043	2,605
自主事業収入	134	244	110
支出	78,828	75,403	▲ 3,425
指定管理業務支出	78,726	75,297	▲ 3,429
自主事業支出	102	106	4
収入-支出	350	1,379	1,029
利益還元	0	0	0
法人税等	350	1,379	1,029
純利益	0	0	0

介護保険収入が減少となったため支出を抑制し、収支バランスをとるよう努めた。今後も介護保険事業における新規利用者の確保に尽力していきたい。

A	B	C	D
---	---	---	---

4か月間の工事、介護保険サービスの変更の影響により収入は減少となったが、バランスのとれた収支となっている。

<p>▽ 説明</p> <p>▼利用料金収入は、通所介護事業において浴室の改修等の影響もあり、利用者数が減少したことにより介護保険事業収入が減収となり、計画より5,111千円の減となった。</p> <p>▼指定管理業務支出は、収入の減に伴い水道光熱費や消耗品費等を適正に支出したことにより、計画を下回り3,429千円の減となった。</p>		
---	--	--

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。		
<p>▽ 安定経営能力の維持</p> <p>・当事業の運営管理は、指定管理費及び通所介護事業の介護保険収入で行われており、支出の抑制も図りながら、収支のバランスをとり、安定した経営を行っている。</p>		適 不適
<p>▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応</p> <p>・個人情報保護については、当法人の「個人情報保護方針」及び「個人情報の保護に関する規程」に基づき適正に対応している。</p> <p>・情報公開については、当法人の「情報公開規程」に基づき透明性の確保に努めている。なお、請求は0件であった。</p> <p>・暴力団の排除については、札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、施設を暴力団の活動に使用させないことや、協定に関する契約については暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないように努めている。なお、暴力団関係と思われる相手方の利用や契約の実績はなかった。</p>		適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>管理業務仕様書及び事業計画書に沿った事業運営を順調に実施した。町内会、老人クラブによる共催行事の実施、子供囲碁、町内会活動等地域への積極的な空室開放、介護予防等に係る事業などを開催したことは老人福祉センターの認知度を広めた。そして、地域、市民の活動の拠点として広く活用することができた。</p> <p>大規模修繕工事の影響で、老人福祉センター及びデイサービスの利用人数が減少となったが、今後も更に誰でも気楽に利用できアットホームな魅力あるセンター作りへの積極的な取組を行い、利用増を図っていくことに努めている。</p>	<p>来年度以降も引き続き「健康セミナー」を定期的開催することで施設利用者をはじめ、老人クラブや地域住民との交流を推進するとともに、地域福祉活動の拠点となるよう「地域見守りサポーター養成講座」や「認知症サポーター養成講座」を定期的開催し、積極的に福祉の増進を図る。また、ニーズの高い健康に関する体操教室等を引き続き開催し、利用促進に取り組む。さらに、利用者や地域のニーズを把握し、施設運営に活用していくために年2回の「運営協議会」の活性化を図っていく。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>施設の目的に沿って、適切な運営管理を行っている。</p> <p>工事による休館期間があったが、地域や子どもたちとの交流事業を継続して実施し、地域福祉に寄与したと認められる。また、施設の利用が制限される工事期間中においても、デイサービス利用者に可能な限り通常のサービスを継続し、環境変化に伴う身体的・精神的な負担減の解消に努めたことを評価する。</p>	